

この大会は弓道連盟主催で、国スポ強化の一環という位置づけで実施されます
大分県弓道連盟主催で標記大会を実施するにあたり、昨年度までは数点、高体連の運営方法と異なるところがありましたが、令和 7 年 5 月に全日本弓道連盟競技規則が改定されたことに伴い、国民スポーツ大会においては、高体連の試合に近い形で実施できるようになっています。

【連絡事項】

(1) 試合の運営役員（係）について

- ・顧問の先生方（外部コーチを含む）を「試合の役員」と位置づけて、昼食の弁当を準備します。費用は大分県弓道連盟に負担していただいています。
- ・参加校数確定後、高体連の今年度係配置を参考にして係にあたる学校の割り当てを行います。詳細は後日、送付いたします。

(2) 競技について

① 的間隔について

予選は 1.5m 間隔 3 射場、決勝トーナメントは 1.8m 間隔 2 射場で実施します

② 競技は、原則として全日本弓道連盟の競技規則（令和 7 年 5 月改定）に則って行いますが、徐々に弓道連盟主催の試合も高体連競技規則を優先されています。

今年度から「服装」と「取矢」の 2 点について、高体連の試合と同じ扱いになっています。

▶全日本弓道連盟競技規則 第 21 条〔服装の規定〕補足説明より

「国民スポーツ大会少年種別の服装は公益財団法人全国高等学校体育連盟弓道競技規則に準ずる。」

→道着は白、袴は黒・紺でなくても可。

▶国民スポーツ大会実施要項より

「公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」改定（令和 7 年 5 月 14 日付）に伴い、少年・成年種別とも取矢は行っても行わなくてもどちらでもよいものとする。」

③ 予選について

立射で行います。第一控（射場内）は椅子を置きます（決勝トーナメントは椅子はありません）。

④ 決勝トーナメントについて

座射で行います。各校、座射での行射の指導をお忘れのないようお願いいたします。

勝ち名乗りがありますので、行射後は本座返りをします。

進行をスムーズに行う為、入場は前の立の遅い方のチームが残り 3 本となった入場し、本座の手前で立ったまま弓を立てて待機し、勝ち名乗りの後、前の選手が退場したら本座に跪座をし「始め」の号令を待ってください。

昇段審査ではありませんので、チーム内で前の人を追い越さなければ体配の速さは速くても大丈夫です。制限時間を過ぎた場合は、打ち越し前であれば引かないように、ご指導お願いいたします。

(3) 当日の日程

8:30 監督会議（競技内容の確認、係ごとの打ち合わせ等）

9:00 開会式（一礼、優勝杯返還、諸注意）

昨年度優勝 女子団体：佐伯豊南 男子団体：杵築

女子個人：別府鶴見丘 手塚 和凜 男子個人：佐伯鶴城 池田 陸人

9:20 競技開始 予選 2 立→団体 8 位決定競射→個人優勝決定・順位決定戦→決勝トーナメント

16:30 閉会式（成績発表・表彰、一礼）